

農業のうごき



茶の試験圃場（緑区寸沢嵐）

神奈川県農業技術センター北相地区事務所では、 夏季高温に対応した持続可能な農業への支援を行っています。

神奈川県農業技術センター北相地区事務所には、茶の試験研究や、相模原市に適した野菜の栽培技術の開発等を行う研究課と、相模原市の農業者を対象に、農業生産技術の普及や農業経営改善を目的としたセミナーや巡回指導を実施する普及指導課があります。今年度、普及指導課では夏季高温に対応した持続可能な農業への支援を重点課題として取り組んでおり、夏季高温被害を軽減するバイオスティミュラント資材（BS資材）※、べたがけ資材、雑草マルチの導入などの効果の実証、導入支援を行っています。夏季高温被害対策をはじめ、農業経営にお悩みの農業者の方はお相談ください。

お問い合わせ先

神奈川県農業技術センター北相地区事務所 電話 042-685-0203



夏まきニンジンのべたがけ資材の調査の様子

※農作物又は土壌に施すことで、農作物や土壌が本来持っている自然な力を引き出し、高温・乾燥など環境ストレスへの耐性や栄養成分の吸収・利用効率を改善する新しい農業資材をいう。



第62回 相模原市農業まつり

～知って、味わって、広げよう！さがみはら農産物の魅力～

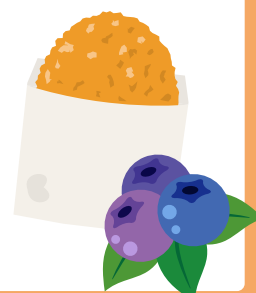


「魅力とうるおいのある都市農業をめざして」をテーマに、市内で生産される農産物を身近に感じていただくため開催される農業まつり。大好評の市内農産物やその加工品の販売が行われるほか、おなじみとなった市内農産物の共進会やHappyたまごチャレンジなど、楽しいイベントが盛りだくさんです。みなさまお誘いあわせの上、ぜひお越しください。

農産物の販売



野菜、果樹、植木、鶏卵、農産物加工品（手づくりハム、プリン、ジビエコロッケ、漬物など）、津久井在来大豆加工品、相模川産アユPR販売、銀河連邦特産品販売ほか



イベント！

- Happyたまごチャレンジ
- ゲームイベント
- 搾乳体験
- 子牛とのふれあい体験



農産物共進会の開催



- 鶏卵部門
- 柿部門
- キウイフルーツ部門



農業委員会ブース



- 農家相談
- 農業委員会の活動パネル展示（農地再生モデル事業など）
- 農業者年金の紹介 ほか



交通のご案内



- ・JR 淵野辺駅（南口）……「淵野辺公園」下車すぐ
- ・JR 相模原駅（南口）……「栄公園前」下車徒歩 12 分
- ・JR 上溝駅（東口）……「栄公園前」下車徒歩 12 分
- ・小田急相模大野駅（北口）……「淵野辺公園」下車すぐ

令和8年11月8日（日）

午前9時～午後2時30分

淵野辺公園中央広場（雨天決行）

主 催：相模原市農業まつり実行委員会・相模原市
問合せ：042-769-9233（農政課）



新規就農者との情報交換会



農業委員会では毎年、農政活動の一環で新規就農者との情報交換会を実施しています。
今回、旧相模原市域と津久井地域、それぞれの地域で活躍する新規就農者にご協力いただき、農業委員との情報交換会を開催しました。

旧相模原市域 こみの 小美野裕太さん (中央区田名 他) : 露地野菜
津久井地域 りょうこ 佐藤 了孔さん (緑区青野原) : 露地野菜

小美野さんは販売所が近い都市型農業の特長を生かし、少量多品目で珍しい野菜の栽培にも取り組んでいます。佐藤さんは高原気候の圃場のすぐ隣に直売所を構え、多くの常連が訪れているとのことでした。
一方、新規就農に当たり、農地や作業場を確保することの難しさ等の課題について意見がありました。
今後とも、新規就農者をはじめ、農業者の皆様の声を聴きながら、農業委員会における農政活動に取り組んでいきます。



小美野裕太さん(下段中央)の圃場(中央区田名)



佐藤了孔さん(中央)の圃場(緑区青野原)

ご注意ください！ 農地等への農作物や果実の放置は、野生鳥獣を誘引する原因です。

イノシシ、サル、シカ等の野生鳥獣による農業被害が、市内各地で発生しています。農地や周辺家屋等への被害を防ぐためには、定期的な草刈り、防護柵の設置、野外に農作物を放置しないこと、不要な果樹の伐採や早期摘果が効果的です。

なお、万が一、被害に遭われた方は、被害の大小にかかわらず「**農業被害調査票**」により**農業被害報告をお願いします**。提出いただいた農業被害調査票により、市内の被害状況を把握し、今後の対策に生かしていきたいと考えています。

農業被害調査票につきましては、専用フォームでご報告いただくか、お近くのJAの各支店に用紙を備え付けてありますので、被害内容をご記入の上、JAの各支店や津久井地域の各まちづくりセンターにご提出ください。

農業被害報告について、ご不明な点、お気づきの点がありましたら、緑区役所区政策課または農政課へお問い合わせください。

報告専用フォーム



<https://logoform.jp/f/wdG9K>

JA神奈川つくいで 鳥獣被害対策相談ダイヤルを 開設しています

専用ダイヤル

0120-44-3674

平日の8時30分から17時(時間外は留守番電話対応)

農業被害(自家消費の田畑を含む)を受けた場合、専用ダイヤルに連絡をするとJA職員が現地へ赴き、

- ①被害状況の確認
- ②現場の写真撮影
- ③被害報告書の作成

などを行います。
対象地域は津久井地域(城山・津久井・相模湖・藤野)に限ります。

農地中間管理事業を活用して農地の貸し借りをしませんか

農地中間管理事業とは

公的機関が農地を貸したい人と借りたい人をつなぐ事業です。
農地中間管理機構(公益社団法人神奈川県農業会議)が借り受けた農地を、経営規模を拡大したい人や新たに農業を始める人などに貸し出し、農地利用の集積・集約化を進めています。対象は市街化区域以外の農地です。ご相談は下記までお願いします。
※所有者と耕作者が直接貸借する「相対の利用権」は令和7年3月末で廃止されました。

農地を貸したい方

- ・高齢等で農業をリタイアしたい
- ・農業後継者がいないので困っている
- ・相続した農地を耕作できない

農地を貸す方のメリット

- ・賃料は農地中間管理機構から確実に支払われる。
- ・契約期間終了後、農地が戻る。(更新も可能)

相談



神奈川県農業会議

神奈川県知事の指定を受け、農地中間管理事業を実施している公的機関



連携

農地を借りたい方

- ・農地を借りて経営規模を拡大したい
- ・新規参入したい

農地を借りる方のメリット

- ・長期間借りることができるので経営が安定する。
- ・貸す方が複数人でも賃料の支払先は農地中間管理機構のみなので便利

相談



農地貸借 の相談は

(旧相模原市域) 相模原市農協 営農センター 電話 042-762-4336
(津久井地域) 神奈川つくい農協 営農経済課 電話 042-784-9905
※農業委員会事務局 (042-769-8292) 及び
同 津久井事務所 (042-780-1406) でも承っています。

令和8年度農政活動協力金の募金へのご協力をお願いします

(公社)神奈川県農業会議から依頼を受けている「農政活動協力金」の募金に、毎年ご協力いただき誠にありがとうございます。

県農業会議では、この募金を活用し、農業生産に携わる農家の皆様が安心して農業経営を継続していけるよう、その条件作りを目指して農政対策活動を展開しております。引き続き、募金へのご協力をお願い申し上げます。

JA相模原市管内における募金方法について

受付期間 : 令和8年9月1日(火)～11月30日(月)
受付場所 : 相模原市農業協同組合 各支店窓口
募金額 : 一戸あたり 600円
納入方法 : 各支店に配架されている農政活動協力金専用の「振込依頼書」に必要事項をご記入いただき、窓口で募金に係る手続きをお願いいたします。(手数料無料)

なお、JA神奈川つくい管内においては、昨年同様の手続きとなります。

※各支店にて(公社)神奈川県農業会議の活動報告をまとめた「農家のみなさんへ」を配布しております。

お問い合わせ先

相模原市農業委員会事務局

電話 042-769-8292

お問い合わせ先

緑区における被害 : 緑区役所区政策課 電話 042-775-8852
中央区、南区における被害 : 農政課 電話 042-769-9233